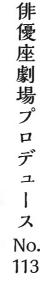


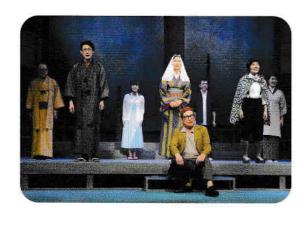
楽

優 座 劇 場 プ 口 デ ユ ス No. 113









ダイダハチローの詩と母の物語)

音楽 作 演 出 11 横 新 堀 垣山 江 安 曲 雄和



協力=サトウハチロー記念館 土居裕子

紀伊國屋演劇賞個人賞受賞(2019年)

植バ 村オ リ 薫 ヵ

新 垣 演 雄

佐 仲 暮 藤 本 智 詩 礼 菜 美 菜

浅 野 雅 博

福 町 沢 良

部 屋 圭 祐 裕

阳

出 演 唒 役 順

2021年/第324回旭川市民劇場12月例会

会場/旭川市公会堂 [編集] 2時間35分 (休憩15分含む)

会の ご 入会金 2,000円 会 費(月) 般 2.500円 大学生 1,000円 くは 旭川 500円

次例会のご案内 2022年2月例会プリエール公演 旭川市公会堂

土

居

裕

子

『銀色のライセンス』 2月9日(水) ※6:30 作/福島三郎 川島 ボルーズ 出演/竹内都子

10日(木)至1:30

俳 優 座 劇 場プロ デ ユ ス No. 113

音楽 劇

演出 作 11 [] 横 堀 江 Ш 安夫 由

歌唱指導=新垣 雄 振付=鷲田実土里 照明 = 桜井真澄

美術=石井強司

衣裳=久保田俊一 音響=藤平美保子

音楽

和

新 垣 雄

宣伝美術=ミネマツムツミ

宣伝写真=飯田研紀 演出助手=松川美子 舞台監督=泉 泰至

協力=サトウハチロー記念館 企画制作 = 俳優座劇場

か V せ つ

それでも彼が詩に託した心とは の間にあった愛情と確執はハチロー 生きた。そして彼の詩に大きな影響を与えた母・春。家族 ことのある歌を数多く遺したサトウハチロ 悲しくてやりきれない』など、誰もが一 心に沁みる詩からは想像もつかないほど彼は奔放に IJ ンゴの 唄』『長崎の鐘』 『ちいさい の人生を翻弄する。 度は口ずさんだ 秋みつけた』

ピアノとバイオリンの生演奏でお贈りする感動の舞台!! 玉の愛唱歌に、新垣雄によるオリジナルの曲を加え、

あらすじ

父に反発していたのだった。 反抗的な態度に手を焼いていた。だが八郎もまた少年の頃 昭和十九年の夏。詩人の八郎は、入隊を望む息子・忠の

のまま、八郎が二十二歳の時に春は世を去ってしまう。 た八郎だったが……。 あんたは冷たい、丸ごと母親失格だ……」すれ違った思い 送られるはめになる。助けを求める八郎に、為す術もない春。 なった八郎は警察沙汰を繰り返し、中学を退学、離島に 「なぜ俺がこんな目に遭うんだ。あんたが俺を捨てたからだ。 時が経ち、詩集『おかあさん』でベストセラー作家となっ 放蕩な父・紅緑のため十代半ばで母・春と別居することに



阿部 裕

(オフィスクロキ)

仲本詩菜 (ACT JP エンターテイメント)



町屋圭祐

(昴)

土居裕子

(プランニング・クレア

(文学座)



小暮智美 (青年座)



佐藤礼菜 (俳優座)



バイオリン演奏 植村 薫



ピアノ演奏 新垣 雄